目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20 23 26	支援経過、アセスメント、モニタリング、サービス担当者会議、スタッフミーティングなどの記録、検討内容などが介護計画に十分反映できていない部分がある。	ご本人の思いや、ご家族の希望、スタッフの気付きなどが反映された介護計画の見直しを、計画期間内でも随時行っていく。	記録様式の改善・整備 情報の整理、検討経過をわかりやすくする記録様式の検討 介護計画への反映	12ヶ月
2	49	日常的な外出支援の機会が少なく、ご家族からのアンケートでも下肢筋力の低下を懸念する声が寄せられている。	日常的にご本人の希望に沿った外出支援が行え、下肢筋力の低下予防につながる支援が行える。	外出支援に対応できる体制作り 買い物支援 地域の方やボランティアの協力を得る 室内で歩行と同程度の負荷を得られる運動を生活に取り入れる	6ヶ月
3	40 43 45	一人ひとりの希望の実現、自立に向けた支援を行っているが不十分な面もある。	一人ひとりの希望をできる限り実現でき、ご本人が主体的に、自立して生活できることを目指す。	食事に関して、準備・後片付け、メニュー作成などの場面で利用者の関わられる機会を増やす ・馴染みの食べ物や行事食をメニューに取り入れる 排泄：個々の排泄パターンに合わせた排泄支援を徹底する 入浴：入りたい方、入りたくない方それぞれのご希望を尊重した入浴支援	6ヶ月
4	35	悪い状況下でも避難誘導がスムーズにできるための訓練が必要。また、各自の役割を実践できるための訓練、責任者不在の場合の連絡網訓練などが必要である。	実際の有事の際の現場を想定し、不測の事態にも対応できる訓練を行っていく。	スタッフのみでの訓練の実施(冬季間の訓練、役割ごとの訓練、責任者不在を想定した連絡網訓練) 避難の際に外部の方(近隣住民、消防隊)への利用者情報の周知の方法の検討	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。